

I 第3週の発生動向 (2014/1/13~1/19)

1. インフルエンザについては、患者報告数が前週の173人から412人に急増し、八戸、上十三保健所管内に、**注意報**が発令されました。(詳細については、V県内インフルエンザ情報をご覧ください)
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週331人から311人で、ほぼ同じでした。

II 第3週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ	26	2.0	12	0.8	236	16.9	15	2.1	97	10.8	26	4.3	412	6.4	239	4	4.0	22	1.8
(74) RSウイルス感染症	4	0.5	1	0.1			2	0.4					7	0.2	-10			4	0.5
(75) 咽頭結膜熱	10	1.3			1	0.1	1	0.2					12	0.3	-10			10	1.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	9	1.0	17	1.9	1	0.2	6	1.0	2	0.5	40	1.0	0			5	0.6
(77) 感染性胃腸炎	113	14.1	49	5.4	41	4.6	19	3.8	36	6.0	53	13.3	311	7.6	-20			113	14.1
(78) 水痘	8	1.0	3	0.3	9	1.0	3	0.6	9	1.5	3	0.8	35	0.9	-74			8	1.0
(79) 手足口病	4	0.5											4	0.1	1			4	0.5
(80) 伝染性紅斑	3	0.4	5	0.6	1	0.1	1	0.2					10	0.2	0			3	0.4
(81) 突発性発しん	6	0.8	4	0.4	2	0.2			2	0.3	1	0.3	15	0.4	-1			6	0.8
(82) 百日咳					1	0.1							1	0.0	1				
(83) ヘルパンギーナ	1	0.1											1	0.0	1			1	0.1
(84) 流行性耳下腺炎			4	0.4			1	0.2					5	0.1	-8				
(86) 急性出血性結膜炎	2	1.0											2	0.2	2			2	1.0
(87) 流行性角結膜炎	5	2.5			2	1.0	1	1.0					8	0.7	-5			5	2.5
(92) クラミジア肺炎														0					
(93) 細菌性髄膜炎														0					
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	1	1.0					2	2.0	4	0.7	2				
(96) 無菌性髄膜炎														0					
(101) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)														-1					

は警報 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患):青森市1人、五所川原1人、上十三1人(2014年計:6人)
- (60) レジオネラ症(四類全数把握疾患):八戸1人(2014年計:1人)
- (63) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患):弘前1人(2014年計:1人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・インフルエンザ(鼻汁、咽頭ぬぐい液、H25.12/25~H26.1/19)・・・インフルエンザウイルスAH1亜型:八戸(1)、インフルエンザウイルスAH3亜型:むつ(12)、インフルエンザウイルスB型:弘前(1)、八戸(3)

感染症の窓

感染性胃腸炎 (五類定点把握疾患)

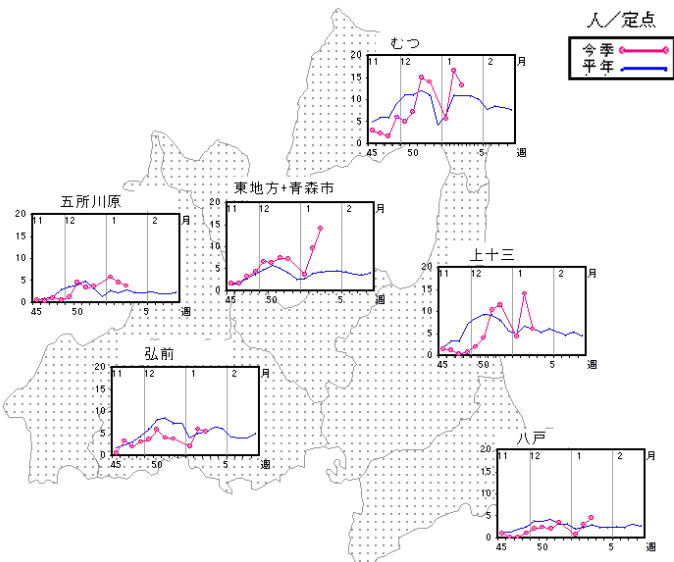


図 県内保健所管内別定点あたり患者報告数の推移 (2013年第45週~2014年第3週)

県内の感染性胃腸炎の患者報告数は、第1週から第2週にかけて倍増しました(図)。この時期の感染性胃腸炎の多くは、ノロウイルスによるものです。ノロウイルスは、食品・ヒト・ドアノブ等の物を介して感染します。

主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢です。嘔吐物・便には大量のウイルスが含まれ、感染の原因となります。人によっては、感染しても発病せずに、便にウイルスを排出している場合もあります。嘔吐物・便の処理時は、使い捨てのマスク・手袋・エプロンを着用し、汚物をしっかりふき取り廃棄してから、塩素系消毒剤または家庭用漂白剤(塩素濃度約200ppm)で消毒することが重要です。ペットボトルのキャップ1杯分(約5mL)の家庭用漂白剤(塩素濃度5%)を、1リットルの水で薄めると200~300ppm塩素液になります。

予防方法は、帰宅時、食事前、調理の前後、食事の配膳前に石けん・流水による手洗いの励行です。(参考:IDSC「ノロウイルス感染症とその対応・予防」)

県のホームページでは詳しい情報を掲載しています。
(http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/nv_ige.html)

V 県内インフルエンザ情報

第3週の患者報告数は、412人で、迅速診断キットによる型別はA型206人、B型202人、不明4人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	49	50	51	52	1	2	3
保健所名							
東地方					2	2	4
弘前	1	1	2	6	6	4	12
八戸	2	1	19	39	35	95	236
五所川原				1	3	4	15
上十三	1		7	8	17	39	97
むつ			1			13	26
青森市		12	21	12	14	16	22
合計	4	14	50	66	77	173	412

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3
保健所名							
東地方					1	2	4
弘前	1	1		3	3	3	11
八戸			9	15	16	50	92
五所川原				1			10
上十三			6	2	8	20	46
むつ			1			11	24
青森市		12	20	10	12	12	19
合計	1	13	36	31	40	98	206

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3
保健所名							
東地方					1		
弘前			2	3	3	1	1
八戸	2	1	8	23	18	44	142
五所川原					3	4	4
上十三	1		1	6	9	17	50
むつ						2	2
青森市			1		2	3	3
合計	3	1	12	32	36	71	202

年齢区分別

週	49	50	51	52	1	2	3
～5ヶ月							1
～11ヶ月			1		3	4	4
1歳			3	1	2	14	21
2歳			4	1	2	7	19
3歳		1	4		2	8	14
4歳		2	5	3	2	11	23
5歳		6	6	6	5	8	35
6歳		1	3	4	4	9	23
7歳			1	3		4	21
8歳			2	2		7	13
9歳		1	2	7	2	3	16
10～14歳			6	20	10	11	71
15～19歳	3	1	1	1	1	12	21
20～29歳	1		3	4	14	12	14
30～39歳			3	5	7	9	36
40～49歳			4	6	4	11	33
50～59歳		2	1	1	4	14	21
60～69歳			1	1	5	13	9
70～79歳				1	7	7	11
80歳以上					3	9	6

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第40週～2014年第3週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
40	H25.9.30 ~ H25.10.6					腸管出血性大腸菌感染症1人	
41	H25.10.7 ~ H25.10.13			レジオネラ症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
42	H25.10.14 ~ H25.10.20					腸管出血性大腸菌感染症2人	
43	H25.10.21 ~ H25.10.27		つつが虫病1人				
44	H25.10.28 ~ H25.11.3		腸管出血性大腸菌感染症1人	梅毒1人			
45	H25.11.4 ~ H25.11.10					つつが虫病2人	
46	H25.11.11 ~ H25.11.17			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
47	H25.11.18 ~ H25.11.24		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
48	H25.11.25 ~ H25.12.1	つつが虫病1人	急性脳炎1人				
49	H25.12.2 ~ H25.12.8						
50	H25.12.9 ~ H25.12.15			アメーバ赤痢1人	レジオネラ症1人		
51	H25.12.16 ~ H25.12.22						
52	H25.12.23 ~ H25.12.29						
1	H25.12.30 ~ H26.1.5						
2	H26.1.6 ~ H26.1.12	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
3	H26.1.13 ~ H26.1.19		アメーバ赤痢1人	レジオネラ症1人			

VII 結核(二類全数把握疾患)

2013年第48週～2014年第3週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
48	H25.11.25 ~ H25.12.1	1	1	2		1	1
49	H25.12.2 ~ H25.12.8	2	2	2			1
50	H25.12.9 ~ H25.12.15		2	1			
51	H25.12.16 ~ H25.12.22	3	2	1			
52	H25.12.23 ~ H25.12.29	3	2	2	1	1	
1	H25.12.30 ~ H26.1.5						
2	H26.1.6 ~ H26.1.12	1	1				1
3	H26.1.13 ~ H26.1.19	1			1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2014年第1週)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	デング熱	マリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	風しん	麻しん
累積報告数	35	2	4	1	1	12	1	1	2	1	2	6	1	13	2	2	2	3

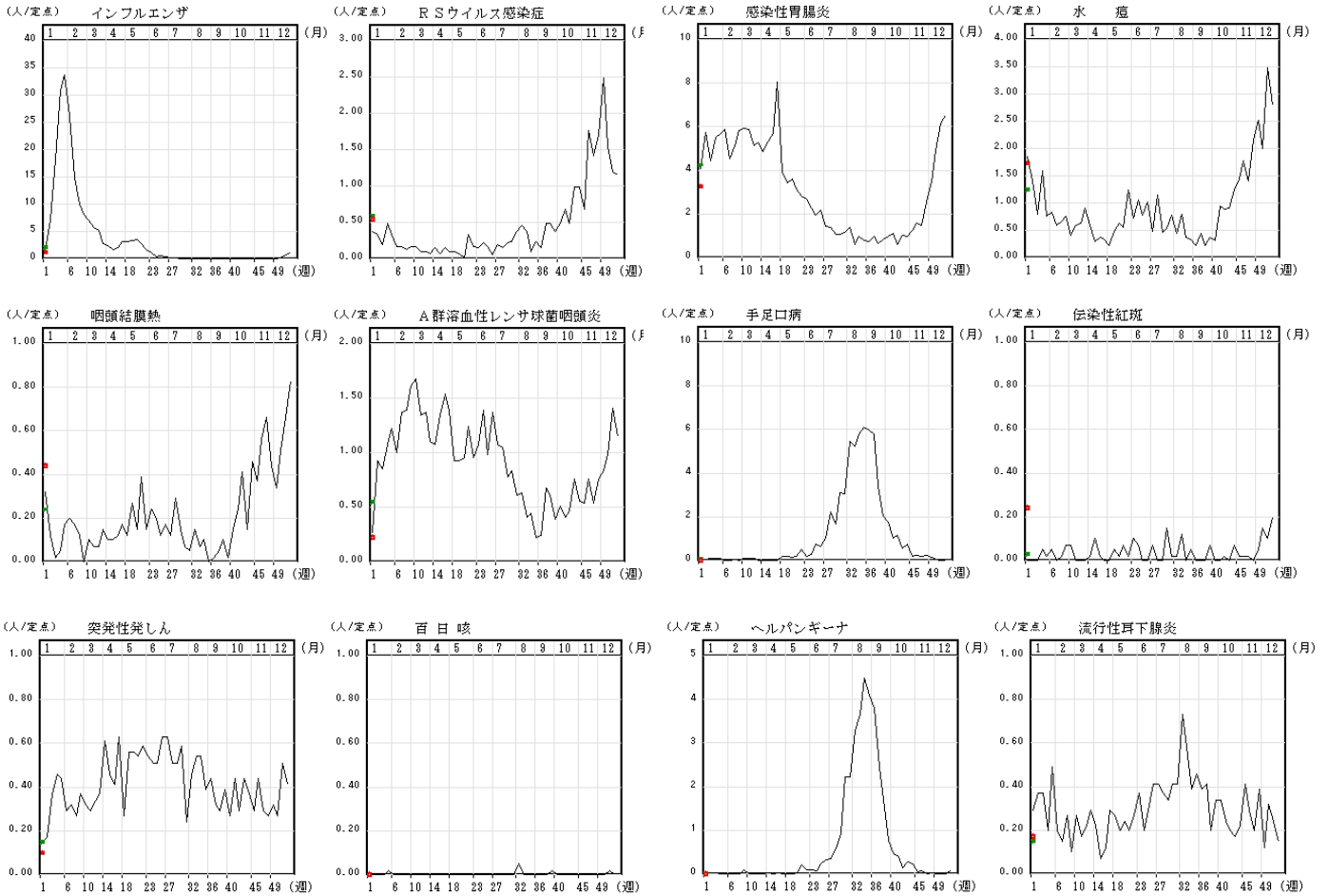
青森県 (2014年第1週～1月20日16:30累計)

分類	二類	四類	五類	五類
疾病名	結核	レジオネラ症	アメーバ赤痢	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	6	1	1	1

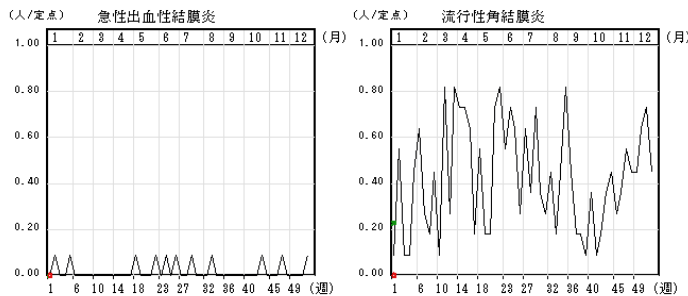
IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2014年第2週

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、×—×は2014年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 2014年第2週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2014年第2週

